

■ 入学検定料・納付金

入学検定料	入学金	授業料	教育充実費	実験・実習費	合計(除く入学検定料)
35,000円	200,000円	1,000,000円	300,000円	200,000円	1,700,000円

■ アドミッションポリシー

あらゆる母子保健活動の現場において活躍できる人材を育成する。特に高い助産実践能力を兼ね備え、生命の尊厳と人間の尊重を基盤として豊かな創造性と柔軟性に富んだ専門職業人の育成を目指している。このことを理解し努力する意思を持ち、さらに次のような人材を求めている。

1. 感性豊かな人間性と、生命や人権の尊重を基盤にした倫理観をはぐくめる素養のある人
2. 協調性、責任感を持ち自律したパーソナリティーをはぐくめる人
3. 助産師として地域社会に貢献する意思を持った人
4. 幅広く学問を学ぼうとする向上心・探求心・創造性を持っている人

■ 2020年度入学試験日程

	受験資格	定員	出願期間	試験日	試験会場	合格発表日	試験科目
推薦入試Ⅰ	国立病院機構の看護師学校の卒業予定者(女子に限る)	10名	2019年 10月28日(月) ~11月8日(金)	2019年 11月16日(土)	名城前医療 キャンパス	2019年 11月25日(月)	小論文、面接
推薦入試Ⅱ	国立病院機構の産科を有する病院に勤務する看護師(女子に限る)						専門科目(母性看護学)、 小論文、面接
推薦入試Ⅲ	愛知県内の産科の病院・診療所に勤務する看護師(女子に限る)	5名					
一般入試	看護師免許または看護師国家試験受験資格を有する者(女子に限る)	10名	2019年12月9日(月) ~12月27日(金)	2020年 1月11日(土)		2020年 1月22日(水)	専門科目(母性看護学)、 英語、小論文、面接

一般入試は、看護系専門学校の卒業予定者または卒業生の方も受験できます。

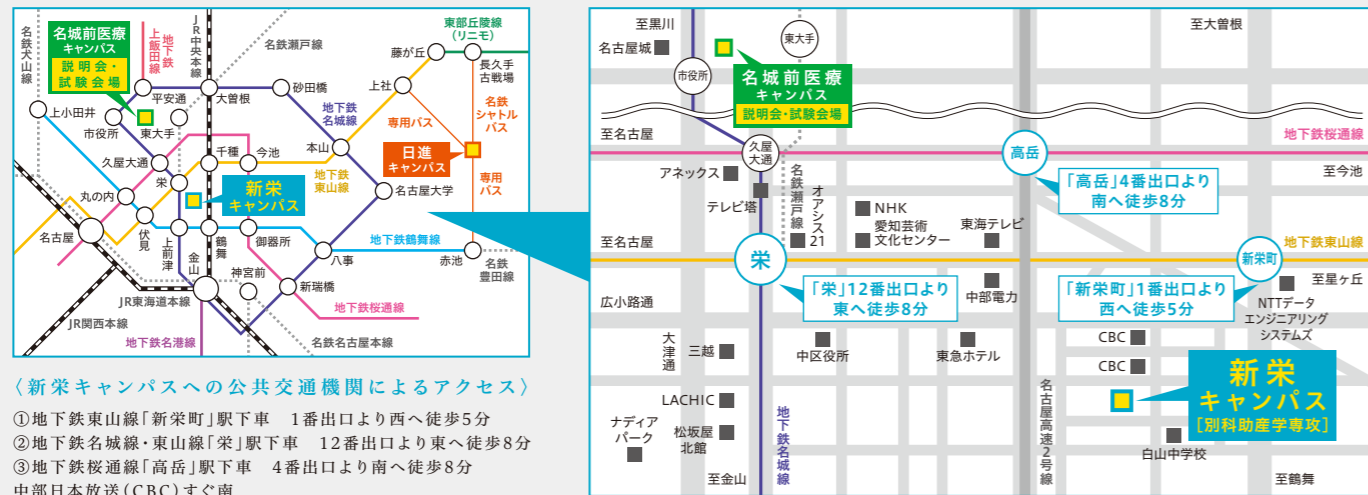
※書類審査(成績証明書・志望理由書)は全試験区分で実施します。

名古屋学芸大学 別科助産学専攻 2020年4月開設予定

1年課程

国立病院機構名古屋医療センターと連携し、通いやすい名古屋都心に開設予定。

— 通学が便利 な名古屋都心型キャンパス —



オープンキャンパス 説明会

〈名城前医療キャンパスにて開催〉

第1回 8/31 (土) 10:00~12:00 (受付9:30)
第2回 10/12 (土) 10:00~12:00 (受付9:30) 要申込



[管理栄養学部] 管理栄養学科
[人間文化学部] 子どもケア学科(幼児保育専攻/子どもケア専攻(養護教諭コース/児童発達教育コース*))
[メディア造形学部] 映像メディア学科 デザイン学科 ファッション造形学科
[看護学部] 看護学科
[大学院] 栄養科学研究科(博士前期・後期) 子どもケア研究科(修士) メディア造形研究科(修士)
*2019年度より子ども心理コースを「児童発達教育コース」に名称変更

新栄キャンパス(東館4階・5階) [別科助産学専攻]
〒460-0007 名古屋市中区新栄1-9-6
TEL:052-241-2131

日進キャンパス [管理栄養学部 ヒューマンケア学部 メディア造形学部]
〒470-0196 愛知県日進市岩崎町竹ノ山57
TEL:0561-75-7111(代表) 0561-75-1777

名城前医療キャンパス [看護学部]
〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸4-1-1
TEL:052-954-1222

お申込み・資料請求・お問い合わせ先
名古屋学芸大学 別科助産学専攻 設置準備室(担当:伊藤) E-MAIL:josan-uketsuke_ml@nuas.ac.jp
〒470-0196 愛知県日進市岩崎町竹ノ山57 TEL:0561-75-1831 FAX:0561-75-1832
詳しくは本学サイト nuas.ac.jp にてご確認ください。



母子の健康と家族の健やかな成長、 女性の多様な生き方を支える。

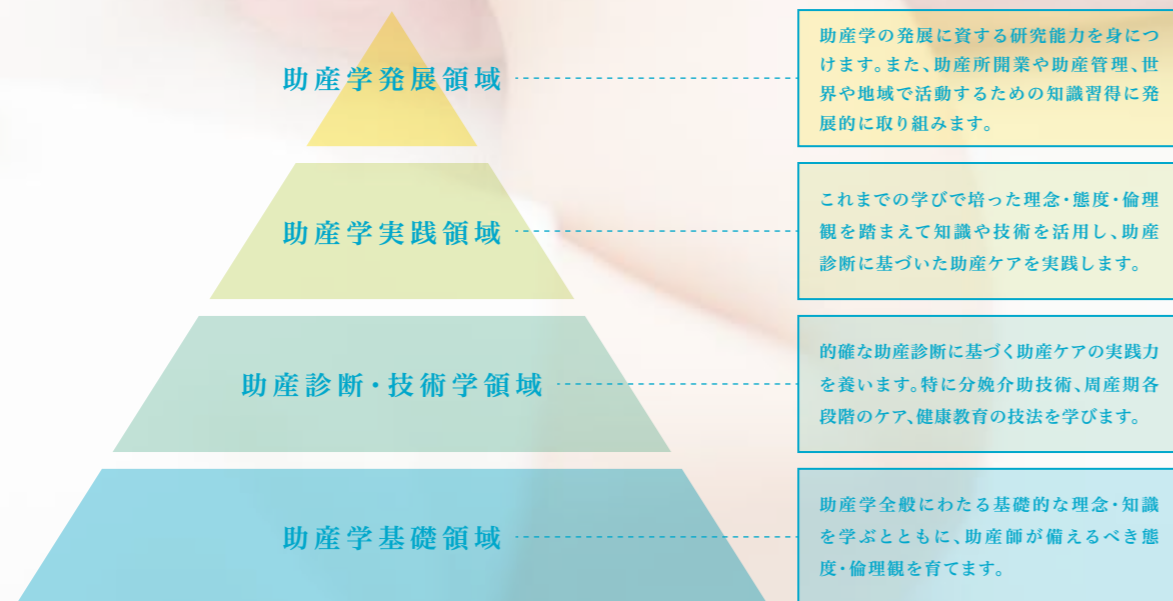
周産期医療に携わる医師・助産師の不足と偏在、ハイリスク分娩・ハイリスク新生児の増加などを背景に、助産師の人材充足と助産技術の質の向上が、中部地区でも急務となっています。

名古屋学芸大学「別科助産学専攻」はこうした地域社会の要請に応えるために、国立病院機構名古屋医療センターとの包括連携協定に基づき、名古屋医療センター附属名古屋看護助産学校の70年に及ぶ教育実績を継承して2020年4月、名古屋都心の新栄キャンパスに開設する予定です。

対象者の個別性を尊重し安全安楽を最優先した助産技術を身につけ、周産期を中心とした女性のライフサイクル全般を見渡してその多様な生き方を支援できる助産師を養成します。

別科助産学専攻の特色

1. 入学定員が25名と多く、多様な学生が刺激し合いながら学びを深めることができます。
2. 5名の専任教員が在籍。教員1名あたり学生5名の環境できめ細かな指導が受けられます。
3. 卒業要件単位数は指定規則28単位を上回る36単位。幅広い分野を学ぶことができます。
4. 臨地実習施設を名古屋市内と近辺に確保しており、目的に応じた効果的な実習が可能です。
5. 日本周産期・新生児医学会が行う新生児蘇生法(NCPR)Bコース修了認定が受けられます。
6. 地下鉄「新栄町」「栄」「高岳」の各駅より徒歩5～8分、通学に便利なキャンパスです。



〈カリキュラムの構造〉

大学別科・専攻科としては
全国最大規模の
入学定員 **25名**

きめ細かな指導を行う
経験豊富な教員構成
教員 **5名**

専攻長



清水 嘉子 教授
名古屋学芸大学 学長補佐
看護学部看護学科
母性・助産看護学教授
長野県看護大学名誉教授
専門分野:母性・助産看護学

教員

小倉 由紀子 准教授 [教務主任]
名古屋市立大学大学院看護学研究科博士前期課程修了
前中京学院大学看護学部看護学科准教授

鈴木 明日香 講師
名古屋大学大学院医学系研究科博士前期課程看護学専攻修了
前愛知県医師会立名古屋助産師学院教員

永友 さゆり 助手
名古屋医療センター附属名古屋看護助産学校助産学科教員

渡曾 涼子 講師
名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科博士前期課程修了
名古屋医療センター附属名古屋看護助産学校助産学科教育主事

糟谷 ちひろ 助教
愛知県立大学大学院看護学研究科博士前期課程ウイメンズヘルス・助産学専攻研究コース修了
名古屋学芸大学看護学部看護学科助手

〈特色ある学び〉

新生児蘇生法

一般社団法人日本周産期・新生児医学会が推進する新生児蘇生法(NCPR)公認講習会Bコース修了に相当する内容をカリキュラムに盛り込んでおり、新生児蘇生法の基礎を身につけることができます。

継続事例

助産実習Ⅰ(妊娠期)・Ⅱ(分娩期)・Ⅲ(産褥期・育児期)を通じて、1人の対象者に継続して関わり、妊婦・産婦・褥婦と新生児、およびその家族への支援を、経過をふまえながら学びます。助産学研究の中で研究的な視点をもって事例研究として論文にまとめます。

取得できる資格 [助産師国家試験受験資格] [新生児蘇生法(NCPR)Bコース認定資格]

〈集中的に学ぶ1年間のカリキュラム〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
助産学基礎領域	助産学概論 周産期医学Ⅰ(産科領域) 生殖医療・遺伝学 周産期医学Ⅱ(小児科領域) 母子と家族の心理											
助産診断・技術学領域	助産診断・技術学Ⅰ(妊娠期) 助産診断・技術学Ⅱ(分娩期) 助産診断・技術学Ⅲ(産褥期・育児期) 健康教育演習			助産診断・技術演習Ⅰ 助産診断・技術演習Ⅱ 助産診断・技術演習Ⅲ								
助産学実践領域							助産実習Ⅰ(妊娠期) 助産実習Ⅱ(分娩期) 助産実習Ⅲ(産褥期・育児期) 助産実習Ⅳ(地域母子) 助産実習Ⅴ(助産管理)					
助産学発展領域	地域母子保健学 国際・災害助産学 助産学研究 助産管理学									助産学研究 助産学特論		
主な行事	入学式				夏休み					国家試験対策	国家試験	卒業式